

B-4 次の記述は、電波雑音について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。なお、同じ記号の□内には、同じ字句が入るものとする。

(1) 受信装置のアンテナ系から入ってくる電波雑音は、□ア及び自然雑音に大きく分類され、□アは各種の電気設備や電気機械器具等から発生する。雷

(2) 自然雑音には、□イによる空電雑音のほか、太陽から到来する太陽雑音及び他の天体から到来する□ウがある。人工雑音 宇宙雑音

これらの自然雑音のうち、特に短波(HF)帯以下の周波数帯の通信に最も大きな影響があるのは□エである。

また、□ウは、□オのように微弱な電波を受信する場合には留意する必要があるが、一般には通常の通信に影響のない強度である。宇宙雑音 宇宙通信 3 イ 10 7 エ 9 オ 1 空電雑音

- |         |        |        |         |         |
|---------|--------|--------|---------|---------|
| 1 宇宙通信  | 2 太陽雑音 | 3 人工雑音 | 4 コロナ雑音 | 5 グロー放電 |
| 6 短波帯通信 | 7 宇宙雑音 | 8 熱雑音  | 9 空電雑音  | 10 雷    |